

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	平成29年度第7回入間市高齢者福祉審議会
開 催 日 時	平成29年11月15日(水) 午後1時30分 開会・午後3時00分 閉会
開 催 場 所	市役所4階 大会議室
議 長 氏 名	春名 恭一
出席委員(者)氏名	春名 恭一、法師 八郎、澤田 壽一、大坂 隆俊、澤田 茂 田中 孝彦、松本 めぐみ、石黒 督悦、松下 庄一、森本 剛 川名 千鶴子、原田 隆司、大島 光恵、森 政江
欠席委員(者)氏名	坂本 嘉久
説明者の職氏名	高齢者支援課 主幹(高齢者支援担当) 岩田 孝弘
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 入間市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画の 策定について ①計画の素案について ②その他 4 その他 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	資料 入間市第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画 (平成30年度～32年度) (素案)
事務局職員職氏名	福祉部長 宮岡 実、福祉部次長 田代 高久 高齢者支援課長 宇津木 教芳、主幹(高齢者支援担当) 岩田 孝弘 主任 神山 晴義 健康推進部長 晝間 昭彦、健康推進部次長 田代 清治 介護保険課長 町田 利男、主幹(地域支援担当) 下村 佳司 主幹(介護保険担当) 粕谷 郁恵
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 ( 2 )

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 )

#### ○ 議 題

( 1 ) 入間市高齢者保健福祉計画・第 7 期介護保険事業計画の策定について

①計画の素案について

②その他

質疑応答

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
宇津木課長	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>ただいまより平成29年度第7回入間市高齢者福祉審議会を開催いたします。はじめに、春名会長よりご挨拶をお願いします。</p>
春名会長	<p>(あいさつ)</p>
宇津木課長	<p>ありがとうございました。会議の進行につきましては、高齢者福祉審議会条例第8条の規定で会長が会議の議長となる旨が規定されておりますので、春名会長に議長として以後の会議の進行をお願いいたします。</p>
春名会長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。委員の皆様方のご協力をいただき会議がスムーズに運営されますようお願いいたします。</p> <p>本日の出席委員は、14人です。坂本委員は欠席となりますので報告いたします。</p> <p>よって条例第8条第2項の規定に基づき、会議は成立いたします。</p> <p>また、会議の傍聴については、ホームページ等で周知したところ、2名の希望がございましたが、1名がまだ到着しておりませんのでご報告いたします。</p> <p>次に、本日の会議録の署名をいただく委員を指名させていただきます。今回は、田中委員、宜しくお願いいたします。</p> <p>本日議論いただく内容は2点でございます。1点目として「計画の素案について」、2点目として「その他」となります。順次、事務局から説明をいただき、ご質問等をいただくかたちで進めていきたいと思っております。</p> <p>それでは、「計画の素案について」の審議を進めたいと思っております。法師副会長より策定部会の報告をお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
法師副会長	策定部会の報告
春名会長	ありがとうございました。それでは、事務局より説明をお願いします。
粕谷主幹	資料「入間市第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画（素案）」第2部各論、第4章について説明
春名会長	ご意見がないようであれば、引き続き事務局より説明をお願いします。
岩田主幹	資料「入間市第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画（素案）」について説明
春名会長	第1部「総論」について、ご意見がありましたらお願いしたいと思います。
原田委員	「総論」については策定部会で何度か議論し、修正されているので基本的に問題はないと思います。
春名会長	<p>第2部「各論」第1章「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちをつくる」について、ご意見がありましたらお願いしたいと思います。</p> <p>地域包括支援センターについては市直営のものも含めて9か所だと思っておりましたが、9か所の中心として市直営の入間市地域包括支援センターがあるということで、P38「地域包括支援センター関係図」は分かりやすいと思います。</p>
原田委員	P32 各事業の概要「（3）老人クラブ活動の支援」について、○老人

発 言 者	発 言 内 容
岩田主幹	<p>クラブの会員増強にとありますが、「増強」という表現は適していないのではないのでしょうか。</p> <p>「増員」の方が適していると思いますが他にご意見はありますか。</p>
澤田(茂)委員	<p>この場合は「増員」の方がよろしいかと思います。</p>
春名会長	<p>年齢の若い方で、老人クラブに入る資格のある方はなかなか入らない状況にあるのでしょうか。</p>
澤田(茂)委員	<p>60歳になると老人クラブに入る資格があるのでお声掛けはしておりますが、強制はしておりません。老人会の会長だけが声掛けをしても増員は難しいということで、区長からも声掛けをしてもらうようにしており、少しずつ増員している傾向にあります。</p>
春名会長	<p>参加資格を60歳以上としていますが、「コミュニティ」に参加するという意味で加わってもらえればいいですが、「老人クラブ」となるとなかなか難しくなってしまう状況です。</p>
澤田(茂)委員	<p>「増員」ではただ人数を増やせばいいという意味になってしまうので、「増強」という言葉も充実されるという意味ではあてはまると思います。</p>
原田委員	<p>市民がお互いに支え合い助け合うという面について、行政において支援するという事なので、「増員」だけでなく、会員の「協調」等、後押しする意味合いの言葉があれば良いと思います。</p>
岩田主幹	<p>前期においては「加入の促進」という言葉を使っておりましたがどう</p>

発 言 者	発 言 内 容
川名委員	<p>でしょうか。</p> <p>会員を増やすと同時に老人クラブそのものを強く、きちんとしたものにしていくという意味も感じますので、「増強」でも良いのではと思います。人数を増やすだけでなく、市がバックアップを行い、次の世代に受け渡し、より発展的なものになっていってほしいという指針もあると思うので、「増員」と「増強」を両方記載してもいいのではないのでしょうか。</p>
森委員	<p>老人クラブの活動、交流事情を広めていって会員の中の繋がりを深められるような意味合いの言葉が入ると良いと思います。</p>
川名委員	<p>「充実」なども良いと思います。</p>
春名会長	<p>ご紹介なのですが、健康福祉センターがボランティアを募集し、講座を受けた3名の男性が社会福祉協議会から支援を受けながら健康づくりのサポート会を行っており、火曜日10時30分から12時まで無料で行っております。講話、歌、ストレッチ等があるので、機会があれば参加してみてください。</p>
澤田(茂)委員	<p>金子地区でも金子根通り健康づくりサポート会の活動が盛んに行われ、この方々が中心になり徘徊の模擬訓練を改善センターで行い、約70名が集まりました。夏には各地区を巡回してラジオ体操を行っております。</p>
森委員	<p>老人クラブの会員になるのに、60歳では抵抗があると思うのですが、違う名称にすることはできないのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
澤田(茂)委員	<p>組織そのものが国の組織なので、老人クラブ連合会になってしまいますが、会の名称はそれぞれの地区で特色のある名前にしてあります。また、地区によってお声掛けをする年齢も様々です。</p>
川名委員	<p>表記の仕方について、「施策」と「施策の展開」が続いておりますが、例えば P29 の場合、「施策」の「1 介護予防・重度化防止の取り組み」部分の字を少し大きくする、また、「施策の展開」の外枠の線が強いと感じますので線を細くする、四角形の角をとるなどをすると見やすくなると思います。</p>
岩田主幹	<p>コンサルと相談をして、より見やすくしていきたいと思います。</p>
春名会長	<p>その他ご意見がないようであれば、第2章「介護が必要になっても安心して暮らせるまちをつくる」について、ご意見ございましたらお願いします。</p> <p>私から質問ですが、P42「(4) 認知症サポーターの養成」について、認知症サポーターは国が推進している事業ではありますが、講習会を受けなければなれるのでそれほど大きな施策ではないような気がします。認知症を理解するという部分の大きなところでとらえてもらい、その中で認知症サポーターを養成するとした方が良いのではないかと思います。</p>
大島委員	<p>P41「(3) 認知症地域支援推進員」の文章が、「1名」の間で改行になってページが分かれてしまっているので、考えた方が良いと思います。</p> <p>P39「(4) 生活支援サービスの充実」の文章で、「NPO」と出てきますが、これは半角ではなく全角の方が良いのではないかと思います。</p>
大坂委員	<p>P39「(5) 市独自サービス事業」に出てくる「SOS」「GPS」は</p>

発 言 者	発 言 内 容
澤田(壽)委員	<p>全角なので、統一した方が良いと思います。</p> <p>澤田委員に質問ですが、認知症の初期症状は自覚できるのでしょうか。</p> <p>難しいです。</p>
大坂委員	<p>P41「(2) 認知症初期集中支援チームの運営」について、実際に本人は正常だと思っているが、周りが困っている状況があります。初期の認知症の方を他の方がサポートするのは難しいと思いますが、どのような意味なのでしょう。</p>
下村主幹	<p>認知症初期集中支援チームの「初期」とは、認知症の初期症状の時期という意味合いもありますが、その方と関わり始めた「初期」の段階で集中的に関わるという意味も含まれております。</p>
法師副会長	<p>傍から見てこの人は認知症が疑わしいと思っても、ご本人や家族に直接伝えて病院を受診させることは難しいと思います。私は民生委員ですが、実際にそのような方がいた場合は地域包括支援センターに連絡をして訪問してもらっております。ただ、高齢者がいるお宅に順次伺って相談等に行っていますというかたちで訪問し、基本チェックリストを紹介したり、介護予防の教室等を勧めているというのが現状です。</p>
森委員	<p>P41「2 認知症施策の推進」について、「認知症初期集中支援チーム」「認知症地域支援推進員」「認知症サポーター」の違いと関係を教えてください。</p>
下村主幹	<p>「認知症サポーター」は、市民の方に認知症について理解してもらい、見守っていただく方になります。「認知症地域支援推進員」は、各</p>



発 言 者	発 言 内 容
	<p>地域包括支援センターに1名ずつ配置しており、認知症サポーター養成講座の企画や、認知症カフェの開設の他に、ご自宅を訪問してご本人やご家族に会って認知症の症状を把握し、地域包括支援センターで採用が難しいような、医療や介護のサービスに繋がっていない等の問題が起きているような方を、「認知症初期集中支援チーム」に報告してもらいます。「認知症初期集中支援チーム」は介護保険課の中に設けており、医師会の先生、介護保険課職員2名、社会福祉士、保健師各1名でチームを組んでおり、相談を受けて訪問をしたり、6か月間集中的にケアを行います。</p>
岩田主幹	<p>計画の中での分かりにくい言葉について、巻末に用語説明を入れようと思っておりますので、ご指摘いただければと思います。</p>
春名会長	<p>認知症施策の推進については難しい部分もありますので、もう一度ご検討いただいて変更があれば修正していただきたいと思います。</p>
松下委員	<p>P51「8 災害等に備えた対応の整備」について、危機管理課で避難行動要支援者の名簿を作成しており、個人情報の問題もあるため必要な自治会は契約をして名簿を受け取っております。事実上は自治会＝自主防災会になっており、災害が発生した時に誰が誰を助けに行くのが重要になると思います。名簿を受け取った以上は責任を持って体制を作る必要があるため、自治会、自主防災会の組織についての対応をしっかりとっておく必要があり、非常に難しいところでもあるので、今後の課題として調整をしていただきたいと思います。</p>
岩田主幹	<p>担当になった方の負担について、当所は隣近所2名くらいの方が声を掛けるという想定で計画を進めておりましたが、実際は指名された方が常に近くにいるわけではなく、また、自分がいなかったためにその方が</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>亡くなってしまった等の場合、過度の負担を追ってしまうため、班単位等で修正するよう検討しております。今後、個別の対応については高齢者の他に、障害者、外国人、妊婦等に対して危機管理課と調整していくかたちになると思います。</p>
春名会長	<p>その他ご意見がないようであれば、第3章「市民が自ら市民を支えるまちづくり」について、ご意見ございましたらお願いします。</p>
下村主幹	<p>P55「地域課題の把握から資源開発までの流れ（案）」について追加説明</p>
春名会長	<p>今後の仕組みの進展、機能の強化に使っていただきたいと思います。</p>
法師副会長	<p>生活支援体制整備事業は、生活支援コーディネーターが中心になって行うということですが、生活支援コーディネーターの選任は各地域包括支援センターで行うのでしょうか。また、初めての役割ですが、生活支援コーディネーターに対する支援やサポート体制はどのように考えているのか、平成30年4月から配置するという認識で良いのか教えてください。</p>
下村主幹	<p>選任については、委託をした所で雇用をしてもらうかたちになると思います。支援については、配置をするだけでなく、それぞれの地区やその方の特徴をいかしながら、ある程度の研修や情報交換については市で関わっていき、埼玉県でも研修体制をとっているのですこへの参加を呼び掛けたいと思っております。時期については平成30年度の早い時期に委託できればと思っております。</p>
法師副会長	<p>計画の基盤になる部分だと思いますので、よろしく申し上げます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
松下委員	<p>P57「3 地域のささえあい活動の推進」について社会福祉協議会としての情報ですが、入間市には9地区圏域があり、地区ごとに支え合いの組織を立ち上げようと努力しておりますが、現在できているのは「ささえあい東藤沢」と「豊岡第二地区元気にする会」の2地区のみです。それぞれの地域で自治会の特徴があり、藤沢にあるグリーンヒルという組織は、地域で高齢化が進み、5階建ての集合住宅にエレベーターがないため、大きな荷物を動かしたり、障子や網戸の張替えの手伝いを行っております。入間台という自治会でも支え合いの組織を立ち上げて動いております。藤沢にあるフルミエールというマンションの自治会は、マンション単位で支え合いの組織を立ち上げようとしております。このように、地域ごとではなく、できるところから作っていきこうと進めているのが現状であり、少しずつではありますが支え合いの組織作りは進んでいくのではないかと感じております。</p>
春名会長	<p>その他ご意見がないようであれば、第4章「介護保険制度の安定的な運営」について、ご意見ございましたらお願いします。</p> <p>P72「(5) 介護保険サービス見込量に基づく保険料算定の流れ」について説明が書いてありますが、前回と同様に図式化して流れをお示しできないかと思っております。「⑩所得段階別補正後被保険者数」についても自分がどこの段階にあたるのかが気になると思います。</p>
大島委員	<p>P59「被保険者数実績及び見込み」の表の、「年度」と「区分」の表記が逆だと思います。</p>
春名会長	<p>単位も追記していただきたいと思っております。</p>
大島委員	<p>全体的に書式が統一されていないような気がします。例えば P52「第</p>

発 言 者	発 言 内 容
宇津木課長	<p>3章「市民が自ら市民を支えるまちづくり」と、P58「第4章 介護保険制度の安定的な運営」の字の大きさが違います。また、西暦（和暦）となっている部分と、和暦（西暦）となっている部分があるので、こちらも統一した方が良いと思います。</p> <p>ご指摘いただいた通り、最終的に製本する際には統一感を持たせようと考えております。また、元号が変わる事も確定されておりますので、市の刊行物を含め、同じ表現に統一しようと考えております。</p>
春名会長	<p>その他にご意見はありませんか。よろしければ、事務局でご意見を参考にご検討いただき、精度を高めていただきたいと思います。</p> <p>それでは次の議題「その他」について、事務局よりお願いいたします。</p>
岩田主幹	<p>計画策定に関わるスケジュールについて、11月16日に企画課より指摘事項が戻ってくるので、今回の審議会のご意見と合わせ修正を行い、11月20日から30日まで庁内パブリックコメントを行います。その後修正を行い、12月15日より行われる市民説明会、12月20日から1月15日まで行われるパブリックコメントとして、各公共施設やホームページに計画を示して市民の皆様にご意見をいただくかたちになります。</p> <p>市民説明会への委員の参加予定は、会場に委員が不在という所はありませんでしたので、調整をして結果を郵送したいと思っております。</p> <p>連絡事項として、次回のスケジュールについて説明</p> <p>審議終了のあいさつ</p> <p>ありがとうございました。次第の4「その他」について、委員の皆様まからお知らせ等がありますか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>特にないようですので、法師副会長より閉会のご挨拶をお願いいたします。</p> <p>(閉会のあいさつ)</p> <p>大変お疲れさまでした。</p> <p>～平成29年度第7回高齢者福祉審議会 終了～</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成29年11月1日

議 長 の 署 名 \_\_\_\_\_

議長が指名した者の署名 \_\_\_\_\_